



株式会社 環境内水面資源研究所

● 藻場等の製造・設計・研究開発

知識
製造業
宣言

資源再循環によるエネルギーの流動と固定化で
次世代の未来に繋げる

特 徴

- ▶ 豊かな漁場を生み出す海、沿岸、水産資源の確保
- ▶ 養殖等による漁業の活性化のための藻場に必要「構造体」の設計
- ▶ 種々の無機物および有機物を用いた構造物体の作製

解決したい課題、実現したい未来

近年、海の「磯焼け」が深刻です。生態系の維持には、稚魚や幼体の隠れ家となる豊かな「藻場」が沿岸に欠かせません。「藻場」と、その造成に必要な「構造体」の設計に重点的に取り組み、磯焼けをなくしていきます。そして、豊かな漁場を生み出す海にしていきます。

注力したい領域

- ☒ エネルギー・環境・資源
- ☒ 健康・医療・生活
- ☒ 食料・農林水産
- ☒ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

当社では、長年の経験に基づくビオトープ構築のノウハウがあり、研究拠点では既に多様な生態系を確立させています。生態系確立のための基礎には、生物を介した無機物および有機物の有効活用による構造物の作製と、これら構造物を利用した初期の生態系、植物（動物）プランクトン生成→藻場造成→漁礁（ゆりかご）を実証するために、海洋（酒田港北港）で基礎実験をしています。特に生態系のシンボルでもある「ウナギ」に着目し、シラスウナギの遡上を視野に、仔魚の隠れ家としての「藻場」と、その造成に必要な「構造体」を提供します。



海中に投入した直後の魚礁ブロック。
1年後には岩牡蠣が自然定着した

コミュニケーター
からひとこと



井上 麻衣

何十年も先を見据えて、よりよい水辺の生態系の確立が各地でできることを期待しています。昨年も知識製造による新たな連携が生まれました。藻場構築のための造形物の材料や形などの製作にまつわる知識と生態系におけるエネルギー流動と固定化の知識とをもって、より実践に結びつく知識との化学反応を求めています。

■ 会社概要

代表者 …… 佐藤 嘉

創業/設立 …… 2023年4月21日

事業内容 …… 内水面環境および沿岸部における生態系の調査・研究・保全および管理

従業員数 …… 5名

所在地 …… 山形県鶴岡市羽黒町市野山字山王林125-1

その他 …… メンバー紹介: 佐藤嘉(博士:工学)、山澤清(ビオトープ研究家、元ミラサボ専門指導員)



1年後、魚礁ブロックの表面が見えないほど岩牡蠣が群生している